

共汗でつくる新「京都市動物園構想」

「ゴリラのおうち」 ～樹林のすみか～

4月27日(日)
12:30～
オープン!

サルワールドに
 新しいゴリラの施設ができます!
 ゴリラの魅力を伝える工夫が
 盛りだくさんです!!
 是非、見に来てください♪



新しいおうちに
 遊びに来てね!



できごと

新しい仲間

☆ワオキツネザルの「オスカー(オス)」が、富士サファリパークからやって来ました。仲良くしてね!



☆コールドック(小型のアヒル[※])のベアが、井の頭自然文化園からやって来ました。あどぎの国にいますので、会いに来てね!

※アヒルはマガモを家畜化したものです。

安らかに

★2013年12月19日にカビバラの「やすし」が歯周病が原因で死亡しました。8才でした。那須どうぶつ王国から来園して9ヶ月と短い間でしたが、来園者の方に親しまれてきました。冥福を祈ります。



旅立ち

☆シロエリオオヅルの「シロー」が熊本市動物園へ、ワオキツネザルの3頭が富士サファリパークへ旅立ちました。みんな新しい仲間と仲良く暮らしてね!



『シロエリオオヅル』 『ワオキツネザル (左からハルヒコ・スグリ・レンゴ)』

寄付のお知らせ

ありがとうございました

プロバスクラブ京都様、京都チェリーライオンズクラブ様からベンチを寄贈していただきました。

ひかり・みず・みどりの熱帯動物館

フタユビ ナマケモノ



昨年オープンした熱帯動物館の新しい仲間として、フタユビナマケモノが那須どうぶつ王国からやって来ました。愛称の「ほっこり」は、来園者の方々の投票で決定しました。そんなナマケモノのことを皆さんに知っていただくために、紹介したいと思います。



個体紹介

名前：ほっこり
性別：メス
来園日：2013年7月27日
年齢：推定4歳

学名：Choloepus didactylus
分類：有毛目 フタユビナマケモノ科
分布：中央・南アメリカ
生息環境：熱帯多雨林、山地林
体長：58~70cm (尾はない)
体重：4~8kg

名前の通り...

ナマケモノは漢字で樹懶と書き、懶は「ものぐさ(何かすることを面倒がること)」とも読みます。木の上で怠けているように見えることから、この字があてられたのかもしれませんが。

ナマケモノとは...

哺乳綱有毛目に属し、ミツユビナマケモノ科とフタユビナマケモノ科があります。2科の違いは名前にもあるように、前肢の指の数が違います。また、フタユビナマケモノはミツユビナマケモノに比べると、体重が少し重く、活発に動くのが特徴です。

熱帯林に生息しているナマケモノは、生涯のほとんどを樹にぶら下がって生活し、食事や睡眠、交尾や出産までもぶら下がったままで行います。

体毛

色は灰色がかった褐色からベージュ。湿気が多いと毛に藻が生えることもあり、それがカモフラージュとなり天敵から身を隠すのに役立ちます。



食べ物

主食は葉や新芽で、母親は自分自身が利用していた木の一部を子供に譲ります。あまり動かないことから代謝が低く、たくさんの餌を必要としないため、野生では一日数gの葉しか食べません。

爪

長いかぎ爪を持ち、前肢は後肢よりも長く発達しています。その爪を細い木の枝に引っかけて上り、長時間ぶら下がっていることができます。



ほっこりの住みかは...

「ひかり・みず・みどりの熱帯動物館」は、主に熱帯に生息するさまざまな動物を「ひかり」、「みず」、「みどり」の3つのエリアに分け、視覚、聴覚、嗅覚、触覚など五感で実感できる展示をテーマとしています。

ほっこりは、自然光が差し込む「ひかり」のエリアで生活し、フタユビナマケモノが生息する環境や行動を観察していただけるように工夫をしています。

ガジュマルの木

熱帯動物館を入ると真っ先に目に飛び込んでくるのが、中央にあるガジュマルの擬木です。

ほっこりは、このガジュマルの擬木の一番高い所によくいます。



ミスト

熱帯のうっそうとした雰囲気を出すために設置しました。また、健康管理のため湿度を上げる効果もあります。
噴出時間...午後1~3時
約3分間隔



ロープ

ナマケモノの行動範囲を広げるために、また行動を観察していただけるように、ガジュマルの擬木からロープを張り巡らしました。しかし、ほっこりが意外に活動的であったため、来園者にできるだけ近く、かつ安全な位置を決めるために只今悪戦苦闘中です。



ほっこりは...

日中は、擬木の上で顔を隠すように丸まっていることが多く、どう見てもナマケているようにしか見えません。飼育員の中にも動いているところを見たことがない人も多いようです。

でも夜になると、ナマケモノの種名からは想像できないくらいに、「ひかり」のエリアを縦横無尽に活発に動き始めます。

餌は、リンゴ・キャベツ・ニンジン・キュウリなどを木にぶら下げていて、食事の時間(餌を付けるのはお昼過ぎ)は彼女任せになっています。最近では日中に食事をすることもあり、動いている姿を見ることができるようになりました。そんなほっこりを見ることができれば、もしかしたら何か良いことがあるかも!是非、会いに来てくださいね~



ZOOスポット 79

動物園の仲間入りをして1年が経った
新人飼育員にスポットをあててみました。



昨年春から、カメ・トカゲなどの爬虫類とゾウの飼育員として働いている黒田 恭子です。

愛嬌のある爬虫類と、超頭脳派なゾウ。どちらも親しみやすい動物ですが飼育はかなり難しく、今はまだ先輩にならって爬虫類の細かな温度湿度管理を行い、ゾウにはせっせとリンゴなどのおやつをあげて、“仲良し”になるところから始めています。

まだまだ分からないことばかりで、先輩たちから色々な知識と技術を教わりながら、日々修行に励んでいます。

動物の命を預かるという責任は重大ですが、その分やりがいもひとしおで、楽しく充実した毎日を送っています!! 早く一人前の飼育員になれるようこれからも頑張ります!



皆さん、初めまして。昨年の4月から動物園に配属された、島田かなえです。

「動物園の飼育員になること」そんな幼稚園の時から夢が叶い、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。

現在は、サル舎で暮らす4種類のサルの仲間とインドクジャクを担当しています。担当してすぐに、マンドリルとフサオマキザルに赤ちゃんが生まれました。初めての経験に内心ドキドキでしたが、元気に成長してくれています。みなさんも是非、サル舎に会いに来てください。

まだまだ失敗ばかりですが、動物たちから色々なことを教わり、驚きと発見の日々を過ごしながら色々勉強して一人前の飼育員になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

タンザニアの野生動物を訪ねて Part 7

野生チンパンジーを訪ねて～ゴンベの森のチンパンジー～

タンザニア研修では、主にゴンベ国立公園とセレンゲティ国立公園を訪れました。

研修期間 2013年8月22～31日 (種の保存展示課 米田弘樹)



【ゴンベ国立公園】



トレッキング出発前の打合せ



毛づくろいをする親子



リラックスしている様子

【セレンゲティ国立公園】



乾季のタンザニア



ゾウの群れ



水辺で休息するナイルワニ

【その他】



アフリカで2番目に広いタンガニーカ湖



訪れたマーケット



参加したメンバー

今回、多くの野生動物を実際に観察することが出来ました。これらを今後の飼育環境の改善、展示物の創作などに活かせるよう頑張ります。

*この研修は、京都大学野生動物研究センターと連携して行っています。

定期購読を希望される方は、82円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称: 京都市長 門川 大作
事業所の名称: 京都市動物園
事業所の所在地: 京都市左京区岡崎法蓮寺町126
動物取扱業の種別: 展示

登録番号: 070051
登録年月日: 平成19年5月22日
有効期限の末日: 平成29年5月21日
動物取扱責任者氏名: 岡崎 聖

